



# 2014年管理職員等アンケート

## 〈 回答数は1,957名 〉

### 過酷な勤務実態や、定年延長など60歳以降の不安が浮き彫りに！

#### 深夜勤務70%の人が無給！ 59%の人が健康に不安！

所属	回収数
東北	227
北陸	247
関東	183
中部	286
近畿	375
中国	108
四国	136
九州	233
地理	153
本省他	9
計	1,957

1 今回のアンケートの特徴  
人事院は、政府の言いなりに「高齢者」層を標的に給与制度の総合的見直しを勧告し50歳台後半の給与の引き下げを画策しています。また、退職金の引き下げ、年金支給年齢の引き上げによる無年金など生活設計すら見通せない状況となっています。

2 アンケートの対象者  
アンケートの対象は、国土交通省内の旧建設省関係の職場を対象に、地方整備局、国土地理院、本省に働く管理職員と、現在は管理職指定を受けていない管理職経験者のポストの職員、約6000名を対象に実施しました。

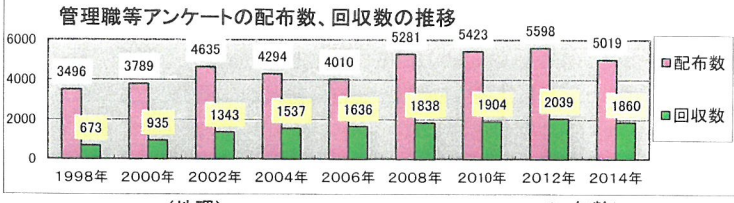
3 アンケートの実施概要  
7月から全国の職場で5019人にアンケートの配布を行い、回答用紙の回収はユニオン組合員の居る職場は直接受け取り、それが難しいところは本部等への郵送で、9月20日まで実施しました。多くの方から協力を得られたことに、深く感謝申し上げます。  
アンケートの分析は1,860名分

国交管ユニオンは1998年に発足以来、管理職アンケートを2年毎に実施し今回で9回目になります。このアンケートでは、日頃職場の中で立场上なかな物も言えずに、仕事と責任だけは押しつけられていて勤務に耐えている管理職員の想いや要求をアンケートに反映し、全国の管理職員が同じ悩みや要求があることを明らかにして、その原因を分析、政策・要求を明確化し、解決の道筋を示していくことにあります。

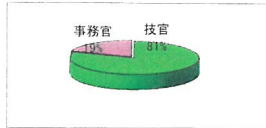
今回のアンケートには1,957名から回答が寄せられました。

NO. 235  
2014. 10. 20

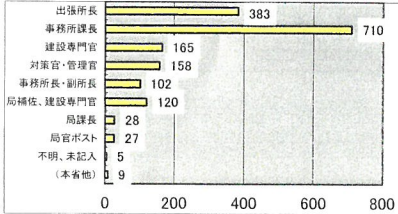
発行  
国土交通省管理職ユニオン  
所在地  
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 中央合同庁舎2号館  
TEL 03-3509-1138  
Eメール  
k-union@alpha.ocn.ne.jp  
ホームページ  
http://www7.ocn.ne.jp/~k-union



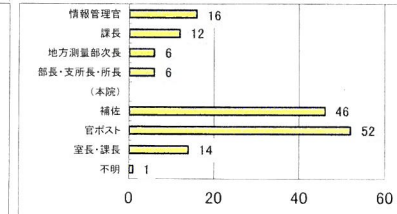
### 1. 官職



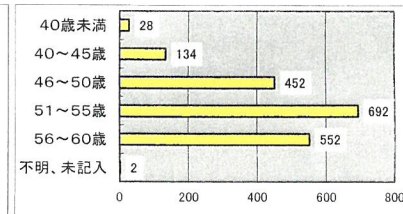
### 2. 役職等 (地整)



### (地理)

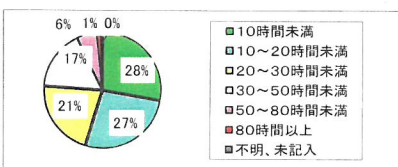


### 3. 年齢

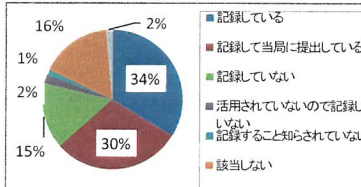


## (設問2) 勤務実態について

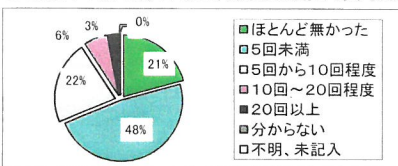
### 1. 最近の1年間の月平均時間外勤務



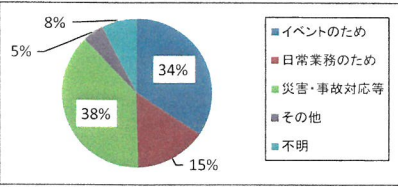
### 2. 「時間外勤務の実績」を記録しているか。



### 3. 最近1年間で休日等に何回の出勤がありましたか。

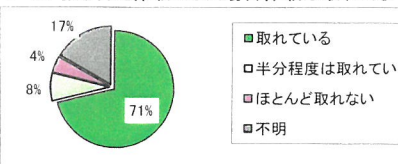


### 3-1. 休日出勤の主な理由は何ですか。(複数回答可)



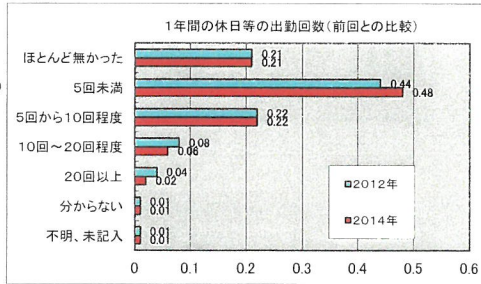
\* 災害対応の38%について、イベントがほぼ同様の34%をしめている

### 4-2. 振り替え休暇にした場合休暇は取れていますか。

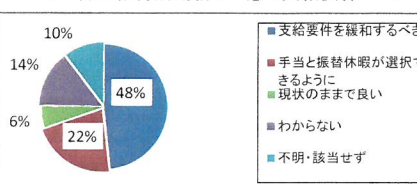


## 半数以上が、管理職特別勤務手当支給要件の緩和を要望！

\* 休日等の出勤は前回(2012年)78%とほぼ同様。

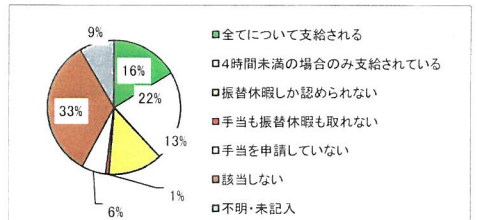


### 4-3. 「管理職特別勤務手当」の支給要件について。



### 4. 「管理職特別勤務手当」について

#### 4-1. 「管理職特別勤務手当」についてはどうですか。



### 支給状況の過去の比較 (全体)

支給状況	2006年	2008年	2010年	2012年	2014年
全てについて支給される	13%	11%	12%	17%	16%
振替休暇が取れない場合のみ支給	19%	24%	21%	26%	
振替休暇しか認められない	27%	24%	24%	23%	13%
手当も振替休暇も取れない	4%	3%	5%	4%	1%
4時間未満の場合のみ支給					22%
手当を申請していない					6%
該当せず・不明	38%	38%	37%	30%	41%

\* 2012年と比べ「全て支給される」は増減、「振替休暇しか認められない」が減少。

管理職等アンケート集計特集号



## アンケート内容の各設問の特徴

**設問2.** 勤務実態について  
・休日出勤などの時間外勤務の時間、勤務内容についての設問により、勤務実態を把握し、管理職特別勤務手当の支給実態とその改善についての設問としています。

**設問3.** 深夜、災害時の手当について  
・深夜、災害の勤務実態について前回アンケートと同様な項目とともに新たに自宅待機の回数などを設問に入れています。  
・前回設けられていた仕事の見直しなどの項目については、業務執行等の設問に入れています。

**設問4.** 健康問題について  
・在職者死亡や心身の故障が増加する中で独立した設問項目とし、深夜等のメールやパワハラについて新たな項目を設けています。

**設問5.** 「給与制度の見直し」について  
・この設問は、退職金削減に続き50歳台後半層をターゲットに給与削減を行おうとしていることからどう思うかの設問です。

**設問6.** 業務執行等について  
・昨年発表された「仕事の政策」で出された予算要求のあり方、検査監督の民間委託導入、増員、仕事の見直しなどの課題について、どう考えるかの設問です。

**設問7.** 将来の生活設計について  
・無年金期間が生じる中で、退職後の働き方、再任用の勤務形態や新たに早期退職制度についての項目を設けています。

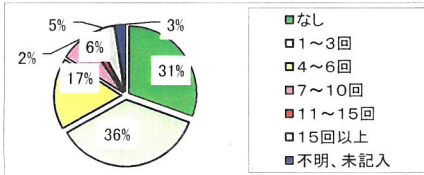
**設問8.** 要求と運動に関して  
・継続的な調査項目であり、今後取り組む課題を設問にしています。

## (設問3) 深夜、災害時の手当について

### 深夜勤務や休日出勤の実態に関するユニオンの運動により、'14年人事院勧告で深夜勤務手当の新設！

※現場最前線の出張所長は約80%が深夜勤務あり。事務所・本局の担当部署は10回越えが概ね10%以上となっている。

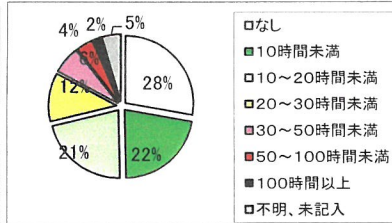
#### 1. 25年度中の深夜勤務(22時から翌朝5時まで)の回数。



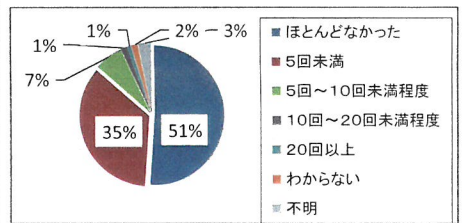
#### 深夜勤務回数の部署又は役職別比較

時間	本省・本局	事務所長・副所長	事務所官ポスト	事務所課長	出張所長	地理						
なし	61	33%	28	27%	118	37%	177	25%	61	16%	121	79%
1~3回	62	34%	38	37%	110	34%	270	38%	174	45%	19	12%
4~6回	25	14%	27	26%	48	15%	128	18%	88	23%	4	3%
7~10回	9	5%	3	3%	22	7%	54	8%	30	8%	1	1%
11~15回	6	3%	2	2%	9	3%	12	2%	4	1%	2	1%
15回以上	18	10%	1	1%	12	4%	56	8%	7	2%	3	2%
不明	3	2%	3	3%	4	1%	13	2%	19	5%	3	2%
計	184		102		323		710		383		153	
深夜勤務あり		65%		70%		62%		73%		79%		19%

#### 2. 25年度中の災害体制時の時間外勤務は延べ何時間位ありましたか。



#### 3. 最近1年間で休日等に災害等で自宅待機の指示はありましたか。



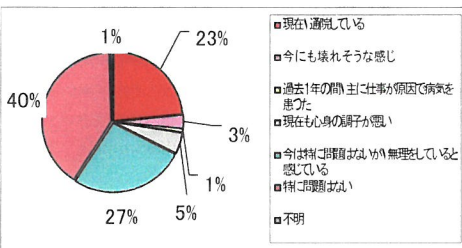
※ 深夜勤務の時間だけでもほぼ20時間、70%の人が無給で奮闘している。

※ 75%の人が災害体制で時間外勤務をしている。

※ 約半数の人が5回以上の「自宅待機」という拘束を受けている。

## (設問4) 健康問題について

#### 1. 忙しさと職場に余裕がなくなっている中で、心身の健康を害している人が増大していますが、健康状態はどうか。

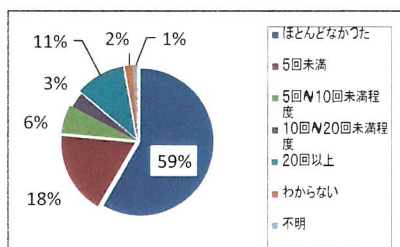


※半数を超える59%の人が健康に不安を感じている。

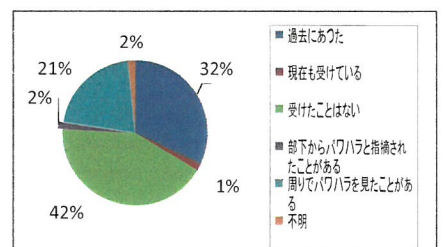
	2012年	2014年
現在、通院している		23%
今にも壊れそうな感じ	3%	3%
過去1年の間、主に仕事の原因で病気を患った	2%	1%
現在も心身の調子が悪い	13%	5%
今は特に問題は無いが、無理をしていると感じている	45%	27%
特に問題はない	37%	40%
不明	1%	0%

### 34%の人が、自身のパワハラ被害を経験している実態が明らかに!

#### 2. 最近1年間で危機管理以外で休日や深夜にメール着信がありましたか。



#### 3. パワハラ(パワハラと感じた言動等)を受けたことがありますか。





**国土交通省に働く多くの管理職員の、仕事と処遇や将来の生活についての不満や不安と要求をアンケートで把握し、要求としてまとめ、国土交通省、人事院、総務省に要求書を提出し、管理職員の処遇改善を追求します！**

国土交通省に働く多くの管理職員は、仕事と処遇や将来の生活についての不満や不安と要求を持ちながらも、管理職員だからというところで物申すことも出来ず、ひたすら耐えざるを得ないという実態が長く続いてきました。

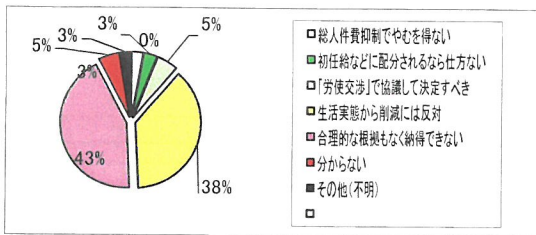
私たちは、こうした管理職員の想いや悩みをアンケートで把握して、これを基に要求としてまとめ、国土交通省、人事院、総務省に要求書を提出し、アンケートで出された切実な「想いや「声」を示しながら、管理職員の処遇改善を迫り、定年退職者の退職前六級昇格、強制的・組織的「若年勸奨」中止、管理職再任用者の三級昇格、管理職特別勤務手当の支給など要求を前進させてきています。

このアンケートは管理職員等を対象にしているということ、日本国内でも余り例がないということもあって、国交省当局や人事院でも注目しているものとなっております。

職場では次から次へと難局が押し寄せ過重な業務に追いついて、将来も見通せず、沈黙と閉塞感が蔓延していますが、私たちはこんな時だからこそ毅然として職場の意志を示すことが必要と考えています。

**(設問5)「給与制度の見直し」について**

1. 人事院は政府の要請に応じ50歳台後半層への賃金引き下げ勧告を行おうとしています。どう思いますか。



**「制度見直し」に反対、若しくは納得していないが80%以上！**

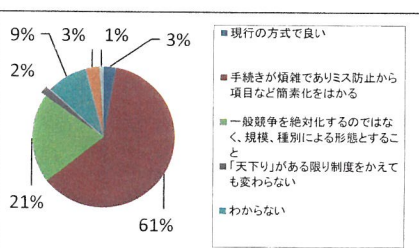


**(設問6)業務執行等について**

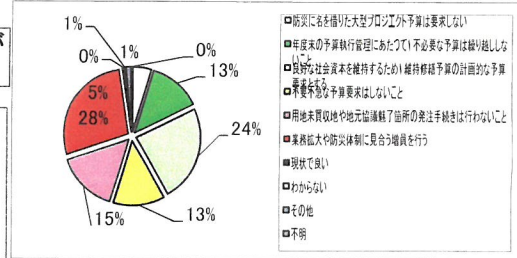
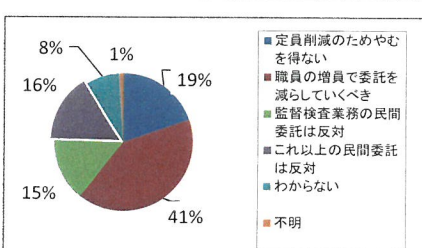
ユニオンは「仕事の政策」を発表し、公共事業は企業や特定の政治家の利益ではなく社会公共の利益をはかるものであり安全安心を確保し暮らしをよくしていくものと考えていますが、そのためには業務執行等についてどの点を改善していくことが必要だと思いますか。

1. 安全安心な社会資本の構築、維持するための予算要求と無駄のない手戻りのない執行がもためられていますが、予算要求やその執行にあたって何が必要だと思いますか。(3項目以内選択)

2. 毎年入札手続きが改訂されていますが、現行の入札制度についてどう思いますか。

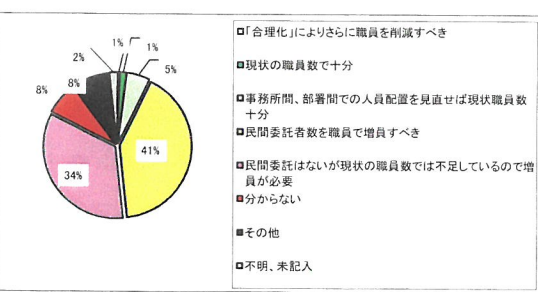


3. 設計、施工監督、検査業務の民間委託が導入されていますが、どう思いますか。

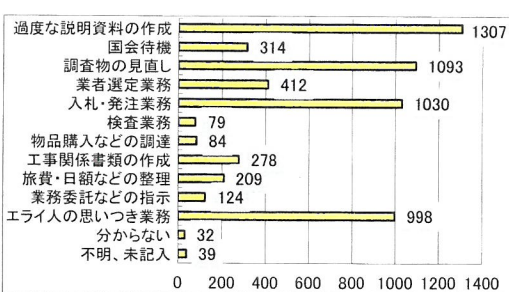


\* 大多数が改善すべきと考えており、維持修繕費の予算、防災、業務拡大への増員要求が重点とされている

4. ユニオンは国民の安全安心を確保する業務執行には増員が必要と考えていますが、どう思いますか。



5. 仕事を見直す場合、改善すべきと思う項目は何ですか。(4項目以内選択)



※見直すべき(無駄が多い)業務として「説明資料作成」「入札・発注業務」「調査物」、特に注目の「エライ人の思いつき業務」が相変わらず多い実態。

その他の主な意見

設問 6-1

- ・ 景観対策目的の予算消化は無駄
- ・ 将来的な日本国家の借入を視野に入れるべき
- ・ 補正予算を無理に要求させられる。対前年度比の予算枠で無く真に必要な箇所への予算配分が必要
- ・ 若いときは年をとったら良くなると言われたときに裏切られた
- ・ 不要不急の組織が減らない
- ・ 補正予算の押しつけは止め必要なものは当初予算化すべき
- ・ 手戻りの無い執行を求める割に早期執行を要求する矛盾の改善

設問 6-2

- ・ 時間が掛かりすぎ、簡素化を図ってほしい
- ・ 制度に見合った人が配置されれば現行でもよい
- ・ 減る職員で手続が煩雑化し、ミス防止、限界です
- ・ 入札契約に時間をとられすぎて、本来行うべき設計審査などがおろそかになる。本末転倒
- ・ 指名競争入札の拡大(ルールを制定した上で)
- ・ 入札制度がマニアのなものになっている

(設問) 6-4

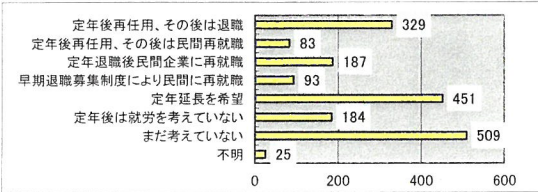
- ・ 災害対応、危機管理の観点からも職員を増員すべきである
- ・ 職員十委託者数の数が絶対数として不足している
- ・ 不要な仕事はやめる。期限が短い局からの調査ものもやめる
- ・ 委託に頼りすぎると技術力の低下につながる
- ・ まずは仕事を減らすべき
- ・ 職員数は見合った業務にする(増員は除限が無い)
- ・ 災害対応を見据えた人員確保(増員)が必要である。現在の人員体制での自治体支援は、国交省の人員的能力を超えている



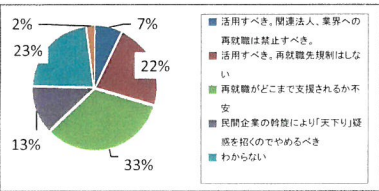
(設問7) 将来の生活設計について

「再任用希望」は前回の38%に対し今回は22%にとどまり、定年延長希望が第一位。早期退職制度への期待感はありません!

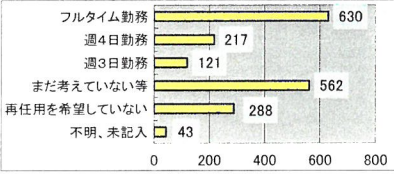
1. 無年金解消のため、人事院は昨年の勧告で「段階的な定年延長」の方針を打ち出し、ユニオンも定年延長を要求していますが、政府は「民間の雇用実態」を理由に1年契約の再任用の義務化で対応しています。退職後はどのように働きたいですか。



2. 昨年度導入された早期退職募集制度についてどう思いますか。



3. 定年延長に代わる義務的再任用はフルタイム勤務を原則にしていますが、国土交通省は短時間勤務しか採用していません。どんな働き方を希望しますか。



※再任用を考えている人のうち、フルタイム勤務希望者は前回の約50%から約65%に増えている。年金の支給年齢の後退によるものと考えられます

Table showing re-employment rates by age group: 再任用, 40歳未満, 40-45歳, 46-50歳, 51-55歳, 56-60歳. Rows include 定年後再任用、その後は退職, 定年後再任用、その後は民間再就職, etc.

※ 全体的に「まだ考えていない」が多く、各年代別で「再任用」希望が多くなっている。

Table showing trends in re-employment and other items from 2002 to 2014. Rows include 定年退職後再任用, 定年退職後民間再就職, etc.

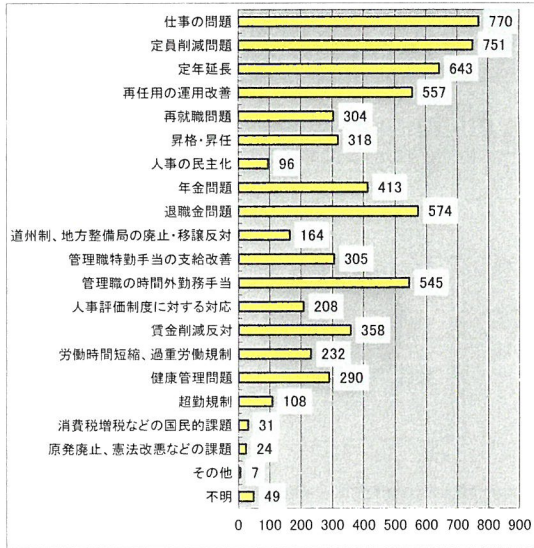
※ 2006、2008年は「定年退職しますか」という設問のみでその他の項目が増えている、灰色の網掛けは設問無し。 ※ 2010年以降では社会状況もあり、定年、再任用が大幅に増加しているが、今回定年延長の項目を設けたことにより「再任用」の項目では今年定年延長の希望が多くなっていると考えられる。

Table comparing re-employment preferences in 2012 and 2014. Rows include フルタイム勤務, 週4日勤務, 週3日勤務, etc.

(設問8) 要求と運動に関して

1. 管理職ユニオンとして今後取り組む要求項目はどれだと思いますか。(重要だと思う項目を4つだけ選んで下さい)

Table of 21 management union requirements with counts and percentages. Top items: ① 仕事の問題 (770, 11%), ② 定員削減問題 (751, 11%), ③ 定年延長 (643, 10%).



職場でいろいろな厳しい状況を反映し、ユニオンに期待して取り組む課題は多岐にわたっている。特に、定員削減による過酷な勤務実態や、定年延長など60歳以降の不安を反映した項目が上位に来ています。

Table comparing union demands across years: 2006年, 2008年, 2010年, 2012年, 2014年. Rows include 定年延長, 仕事の問題, 再任用の運用改善, etc.

アンケート結果を反映し、多くの改善意見や要求を職場で議論し、要求実現の大運動を!

Section titled 'その他の意見(一部)' containing various member comments on issues like overtime, retirement, and union activities. Includes an illustration of people talking.